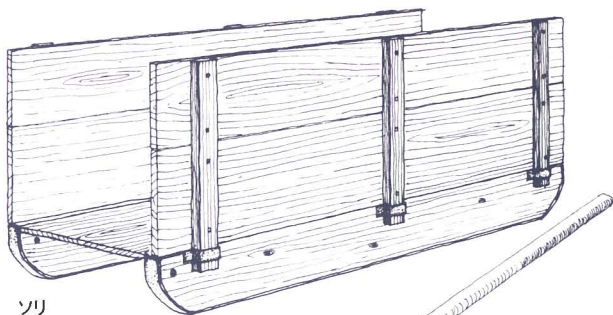


昔の冬の道具はグッド・デザイン

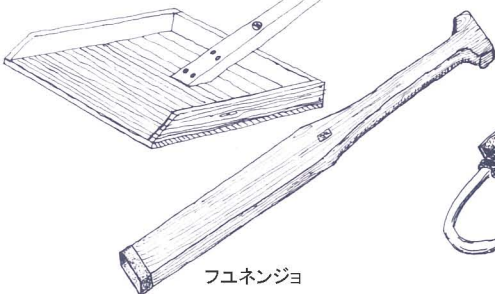


ソリ

雪を捨てるために使われた。縄をかけ、人力で引っぱり近くの川まで雪を運ぶ作業は、大変苦勞がいった。

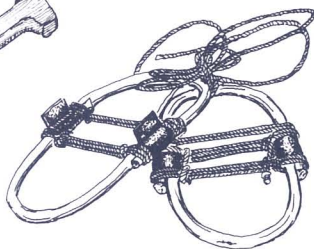
除雪具

町場の道路除雪に使われた。今でこそ軽くて丈夫な道具が多いが、以前は木製であった。



フユネンジョ

荷負杖であるが、雪かきに便利のように先が広がっている。

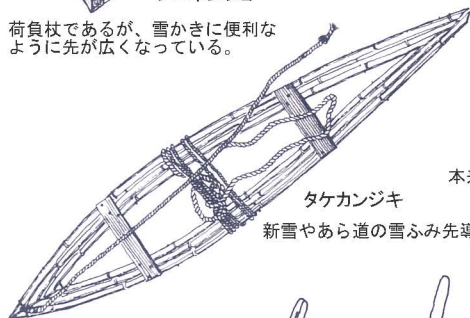


フカグツ(ワラグツ)

ワラで編んだフカグツは、足もとをあたたくくつつんでくれる。雪国の知恵がはぐんだ、雪国用のはきみのである。

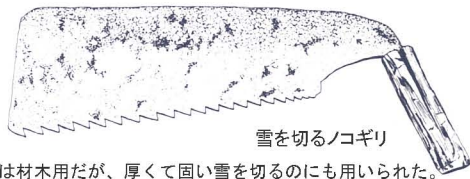
カンジキ

木やワラで作られた、雪の上を歩くための道具。現在でも冬山登山などに利用されている。



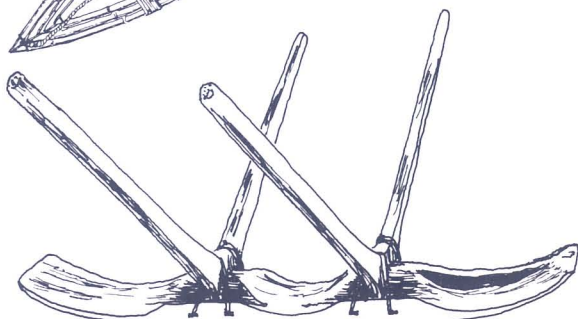
タケカンジキ

新雪やあら道の雪ふみ先導に使われた。

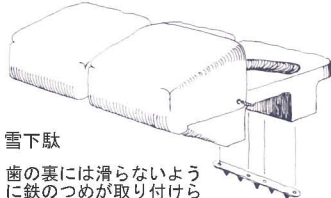


雪を切るノコギリ

本来は材木用だが、厚くて固い雪を切るのにも用いられた。



一本ソリ 雪のあるときに、山から木材を出すのに使われた。



雪下駄

齒の裏には滑らないように鉄のつめが取り付けられている。タビをはいてのことはいえ、買物をして帰ってくるだけで濡れることが多かった。



小田原マント